

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者・（児） 就労継続支援B型事業所
事業所名（施設名） 喬木村さくらの園

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>作業に関しては、ここ数年、確実に工賃もアップし、多くの利用者が個々の特性を活かし、自信を持って作業しています。</p> <p>しかし、これらの自信が、利用者個々の生活全般には結びついてはいないようでした。</p> <p>今後は、就労作業面だけでなく、広く利用者の皆さんの生活全体に寄り添う支援を期待します。</p>

	(2) 権利擁護	① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	c)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。 ■ 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 12 権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>法人の規定及び法令に則り、適切な研修と対応が行われていますが、障害者の権利擁護全般に対する一般職員の理解は充分とは言えません。現在行っている支援の根幹について、全職員で改めて確認する必要があると思います。</p>
2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 17 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>比較的自立度の高い利用者が多い当施設においては、ほとんどの利用者は生活習慣が確立し、日々の作業に積極的に取り組んでいます。しかし、現状の生活環境を超えた自立した生活には思いが至っていないようです。今後、利用者の希望に応じて更なる自立した生活も視野に入れた支援が望まれます。</p>

		<p>② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</p> <p>■</p> <p>20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</p> <p>■</p> <p>21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</p> <p>■</p> <p>22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</p> <p>■</p> <p>23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</p>	<p>利用者の能力や希望に応じた作業種目を提供し、高い工賃と満足度が得られる支援が行われています。今後も利用者の思いを汲み取る一層の努力を期待します。</p>
		<p>③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>24 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</p> <p>■</p> <p>25 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</p> <p>■</p> <p>26 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</p> <p>■</p> <p>27 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</p> <p>■</p> <p>28 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</p>	<p>支援者は、利用者の思いを汲み取り、決定を利用者に委ねる支援が行われています。今後は、施設内の支援にとどまらず、生活全体の利用者の思いを個別支援計画に反映し、より質の高い支援を目指すことが望まれます。</p>

<p>④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>29 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。</p> <p>30 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</p> <p>31 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</p> <p>32 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</p> <p>33 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</p> <p>34 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</p>	<p>個別支援計画に基づき、作業内容や支援方法に工夫を凝らし、利用者からは高い満足度を得られています。</p> <p>また、お花見や外食など日ごろの苦勞を癒す取り組みも多くの利用者から喜ばれています。</p> <p>しかし、作業以外の支援において、他の社会資源との連携や、それによる地域ニーズの把握には、多くの職員が課題を感じています。</p> <p>地域の他の社会資源と連携した幅広い支援が期待されます。</p>
<p>⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</p> <p>36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</p> <p>37 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。</p> <p>38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</p> <p>39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</p>	<p>法人内外の研修に積極的に参加し、知識や支援技術の向上に努めています。</p> <p>規模の小さい施設のため、職員間で、その情報は共有されているとは思いますが、伝達研修等の記録は確認できませんでした。</p> <p>また、支援方法の改善は必要に応じて行っていますが、環境面においては課題があるようです。</p> <p>習得した研修知識の共有による諸課題の改善への取り組みを期待します。</p>

<p>(2) 日常的な生活支援</p>	<p>① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■ 40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</p> <p>■ 41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</p> <p>□ 42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</p> <p>□ 43 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</p> <p>□ 44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</p>	<p>日常生活の多くが自立した利用者を対象としているため、基本的に生活支援には重きを置いていません。しかし、昼食の用意が困難な利用者に対して、弁当による食事提供を行い、働きやすさを支援しています。</p>
<p>(3) 生活環境</p>	<p>① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>b)</p>	<p>■ 45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</p> <p>■ 46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</p> <p>■ 47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠（休息）できるように生活環境の工夫を行っている。</p> <p>■ 48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</p> <p>□ 49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</p>	<p>限られたスペースでの就労活動を主としている施設のため、作業面においては、できる限りの安全面での配慮や、集中して作業ができる配慮が行われています。しかし、生活面の設備は充分とは言えません。感染症などの体調の変化や、着替えのスペースの確保など、利用者が安心して快適に過ごせる設備の拡充が必要に思われます。</p>
<p>(4) 機能訓練・生活訓練</p>	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■ 50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</p> <p>■ 51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</p> <p>□ 52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>□ 53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>□ 54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</p>	<p>就労継続施設のため、就労作業以外の訓練の場面は限られていることは理解できました。しかし、利用者の日中の時間の多くを任された施設として、生活全般への影響は少なからずあると思います。日中活動から見えてくる課題に対し、関係機関と連携し、福祉の専門職としてより利用時間後の生活にも思いを寄せた支援を期待します。</p>

(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 <input type="checkbox"/> 56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 <input type="checkbox"/> 57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。	就労作業中の利用者の健康状態の不調に対しては、家族や関係機関と連携し、適切な支援が行われています。 当施設の利用者は、日中の多くの時間を当施設で過ごされていることに鑑み、より一層の健康状態の把握と健康管理に向けた取り組みが望まれます。
	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<input type="checkbox"/> 60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。 <input type="checkbox"/> 64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。	就労施設のため、施設内で医療的な支援は行われていません。 しかし、利用者の急な体調の急変による緊急の対応が必要になることは想定できます。 関係機関と連携し、利用者がより安心して利用できるよう想定の幅を広げた課題の検討が必要と思われます。

<p>(6) 社会参加、学習支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■ □ □ ■</p>	<p>66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</p> <p>67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</p> <p>68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</p> <p>69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</p>	<p>就労活動、とりわけ、パンの販売や清掃活動を通して、利用者の社会参加の体験を行っています。</p> <p>しかし、特定の目的を持った体験や学習については、職員間ではその意識は低いようです。</p> <p>現在の就労作業を利用者のゴールとせず、より一層の社会的自立を目指した支援を期待します。</p>
<p>(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>□ ■ □ □ ■</p>	<p>70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</p> <p>71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</p> <p>72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</p> <p>73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</p> <p>74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</p>	<p>就労活動を通じた社会体験は、地域生活を営む上での貴重な経験となっています。</p> <p>しかし、個別支援計画の策定過程において、より自立した地域生活への利用者の思いの聞き取りや、具体的な支援については、関係書類に記述が少ないように思われました。</p> <p>単に地域で生活していることだけでなく、より自立した地域生活を目指して、利用者の意向を聞き取り、個別支援計画にそって具体的な取り組みをされることを期待します。</p>

	(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>当施設と家庭（GH等を含む）の間で連絡ノート等において、互いの情報を交換しています。</p> <p>しかし、これらについての支援記録は少なく、個別支援計画への記載も多くはありませんでした。</p> <p>家族やGH等との連携の中で浮き彫りとなった課題等についても支援記録に記載し、個別支援計画に反映されることが望まれます。</p>
3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> 81 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。 82 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。 83 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 84 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。 	対象外

4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 85 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 ■ 86 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 ■ 87 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 ■ 88 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 ■ 89 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 ■ 90 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。 	きめ細やかな指導と環境の整備により、ここ数年は、高い工賃と利用者の高い満足度という成果をあげています。 今日の活動を発展させ、より多くの地域の障害者を受け入れることは容易ではないと思いますが、今後の更なる発展を期待します。
		② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 91 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 ■ 92 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 ■ 93 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 ■ 94 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 ■ 95 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。 ■ 96 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。 	ここ数年の順調な工賃アップによって、利用者から高い満足度を得て、生き生きと作業されている声が多く聞かれました。 しかし、村から譲り受けた建物を使っているため、安全面での配慮に欠ける部分も見られました。 より安心して作業に集中できるよう点検と改善が必要だと思います。

		<p>③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■ 97 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。</p> <p>□ 98 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</p> <p>□ 99 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</p> <p>□ 100 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</p> <p>□ 101 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</p> <p>■ 102 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</p>	<p>施設の近隣企業だけでなく、公共施設の清掃業務など、年々作業種目を増やすことで地域の企業に対し、障害者就労への理解を深めています。</p> <p>しかし、就労継続B型施設のため、一般就労に対する意識は低いようです。</p> <p>当施設の就労を利用者のゴールとせず、更なる自立に向かった支援を期待します。</p>
--	--	--	-----------	--	--